

農林水産物の輸出と観光振興～九州経済連合会の取り組み～  
2020 日中韓協力ダイアログ

九州経済連合会

1. 九州経済連合会（九経連）は九州の経済団体。日本の中でも韓国や中国に最も近い地域。古くから CJK 間交流が盛ん、2001 年からは毎年、環黄海経済・技術交流会議（“Yellow Sea Rim Economic and Technology Exchange Conference”）を開催。
2. 九経連の取り組みは多岐に亘るが、九州から日本を動かす象徴的な取り組みとして、農水畜産物の輸出と観光振興を図っている。コロナ禍ではあるが、一定の収束が見えた段階で直ちに動けるよう、その準備期間として、遺漏ないように努めているところ。
3. 農水畜産物の輸出
  - (1) 食料安全保障が最大の課題に～日本の農業の実情
    - ・農業従事者の平均年齢は 66.8 歳と高齢化。食料自給率 38% は先進国中最低。
  - (2) 九州農業の特徴
    - ・1 割経済といわれる九州にあつて、農林水産業シェアは 2 割。
  - (3) 九州経済連合会の数値目標
    - ・企業の農業参入、2016 年までの 7 年間で 6 倍、277 件に。2020 年の輸出を 1,200 億円に（～コロナ禍により未達）。
  - (4) 九州と韓国・中国との新たな輸送ルート例と当面の課題
    - ・博多⇄釜山（海上）、釜山⇄群山（高速道路）、群山⇄石島（海路）の可能性
    - ・苺やさつま芋など九州の特産物の輸出
    - ・牛肉、豚肉、鶏肉や加工品の輸出
    - ・輸出のための精米工場の九州指定追加
    - ・放射能規制の撤廃または大幅緩和（九州先行実施）
    - ・検疫・通関遅延リスク削減
4. 観光面の課題
  - (1) 2019 年のインバウンド客の国・地域別構成比
    - ・70% が中国、韓国から→広く欧米豪からも
  - (2) 2020 年のインバウンド客の国・地域別構成比
    - ・4 月以降、コロナ禍で激減
  - (3) 「アフターコロナ」に向けた九経連のアクション
    - ・アウトバウンド、インバウンド双方向の観光推進～新たな航空路整備と PR 団の派遣
    - ・アドベンチャーツーリズムの推進～「2023 ツールド九州・山口」
    - ・観光人材の育成～大学や専門学校等でのカリキュラム整備

（以上）